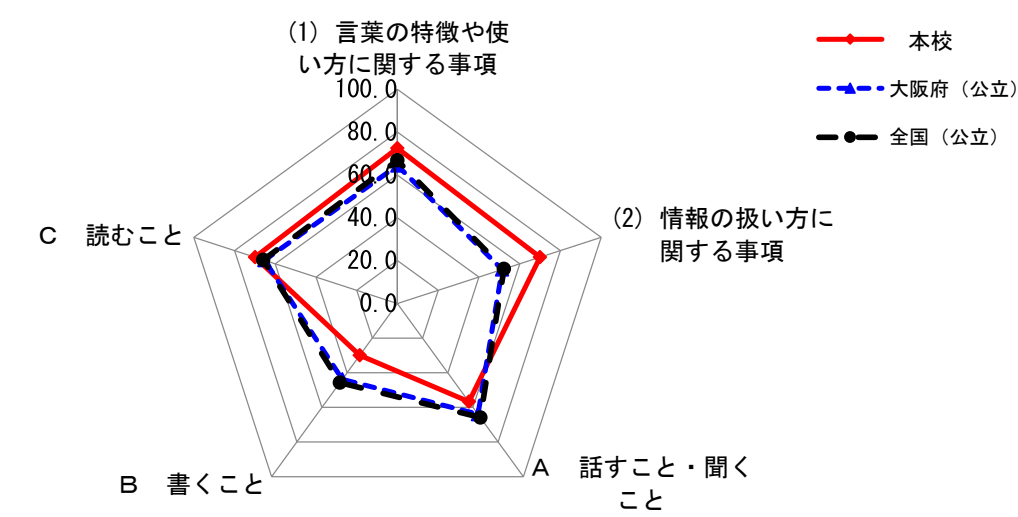
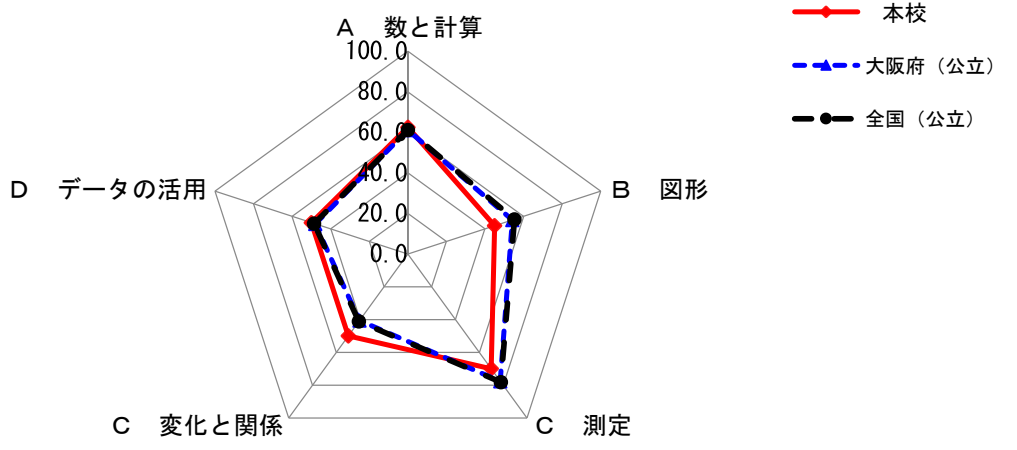


調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。
保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 ＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞

【国語】	【算数】
 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 情報の扱い方に関する事項 A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと ● 本校 ▲ 大阪府（公立） ● 全国（公立） 全体的な状況 本校の平均正答率は全国平均をわずかに上回っており、全体として概ね良好な水準を維持しています。領域別に見ると、「情報の扱い方」や文章の特徴理解などの設問では高い成果が見られた一方、「書くこと」における文章構成や、視覚資料を活用した表現の工夫を読み解く設問などでは全国平均を下回り、課題や傾向が表れる結果となりました。 成果 「情報の扱い方」において大きな成果が見られました。具体的には、考えと理由の関係を捉える設問や、図・メモを活用した情報整理において全国を大きく上回る結果となりました。さらに、文章の特徴の理解や必要な情報の抽出でも強みを発揮しています。文脈に応じた漢字の正しい使用を含め、基礎的な知識の定着とともに、情報を整理・分析する力がしっかりと身に付いていることが窺えます。 課題 課題として「書くこと」における文章の構成や展開の把握が挙げられます。文章の工夫を説明する問題においては全国を大きく下回る結果となったほか、動画資料における表現の工夫を読み解く問題や、収集した情報を適切に引用して自分の考えを書く記述問題にも課題が見られました。今後は、文のつながりや配置を意識させ、目的に沿って文章全体を構成する力を重点的に育んでいく必要があります。 課題解決に向けた取組み まず構成メモを活用して文章の組み立てを整理し、筋道を意識して書く丁寧な指導に取り組んでまいります。また、集めた情報と自身の考えを区別して書く学習活動を取り入れ、根拠を持って表現する力を育みます。さらに、視覚資料を活用した対話的な授業や、児童同士でアドバイスし合う推敲の活動を通し、互いに論理的な表現力を高め合えるよう指導の充実にも努めてまいります。	 A 数と計算 B 図形 C 測定 C 変化と関係 D データの活用 ● 本校 ▲ 大阪府（公立） ● 全国（公立） 全体的な状況 本校の全体平均正答率は全国平均をわずかに上回っており、全体として概ね良好な水準を維持しています。領域別に見ると、「数と計算」や「データの活用」における思考・表現力、概念理解を問う設問で高い成果を示しました。一方で、「図形」領域（立体図形の構成や体積の理解）においては全国平均を下回る設問が多く見られ、単元や領域によって定着度に明らかな開きがあることが窺えます。 成果 理由や根拠を粘り強く思考し、論理的に記述する力が大きく伸びています。具体的には、異分母分数の大小比較とその理由を記述する設問や、表の誤りを指摘して根拠を説明する設問において、全国を大きく上回る成果が見られました。また、単位量当たりの混み具合を表す式の意味を読み解く設問でも高い成果を示しており、単なる計算操作にとどまらず、式の持つ意味を言葉で捉える力がしっかりと定着していることが窺えます。 課題 「図形」領域における空間概念や体積の理解には課題が見られます。具体的には、単位立方体でつくる直方体の体積を求める問題や、直方体の面の構成に関する問題において、全国平均を下回る結果となりました。また、「データの活用」においても、二次元の表から条件に合う人数を読み取る問題で全国を下回り、複雑に絡み合った複数の情報を正確に処理する力の育成に課題を残しています。 課題解決に向けた取組み 基礎的な概念の定着に向け、体験的な学習活動や児童同士の対話活動を積極的に取り入れてまいります。また、本校の強みである「考えを言葉で表現する力」を各教科等の学びへ波及させ、思考力や表現力をより一層高めていきます。子どもたちが主体的に学びを楽しめる環境を整え、一人ひとりの確かな学力の向上に向けて丁寧に支援してまいります。

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	100	76	71
あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	91	74	70
将来の夢や目標を持っていますか	100	81	82

全体的な状況

本校の児童は、学習に対する意欲が高く、学校生活を楽しく前向きに送っています。特に先生や友達との信頼関係が深く、安心して学べる温かい環境が整っています。また、家庭での学習習慣や家族との会話も定着しており、保護者の皆様のご協力が大きな支えとなっています。一方で、規範意識や読書習慣、規則正しい生活リズムについては、今後さらに高めていくべき課題も見られます。

成果

特に算数や英語において「好き」「得意」と答えた割合が全国平均を大きく上回り、工夫して発表する力や思考力が身に付いています。また、平日の家庭学習時間が長く、自主的に学ぶ習慣が定着しています。学校生活では「困った時に先生に相談できる」「自分の意見が否定されない」と感じる児童が多く、自己肯定感を持ち、意欲的に学んでいる点が大きな成果です。

課題を残した主な項目	本校	府	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	73	91	96
毎日、同じくらの時刻に寝ていますか	73	83	83
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	73	76	79

課題

一番の課題は「いじめはどんな理由があってもいけない」という道徳的意識の回答が全国を下回った点です。相手の立場に立った思いやりや規範意識のさらなる徹底が必要です。また、生活面では就寝時刻の不規則さが目立ち、学習面では端末を活用して自力で文章作成や情報整理を行う技能の育成が課題となっています。

課題解決に向けた取組み

道徳や学級活動を通じ、「いじめはいかなる理由があっても許されない」という人権意識と相手を思いやる心を徹底して育みます。情報面においては、端末を活用した情報の収集・整理や文章作成の具体的な指導を各教科で意図的に増やします。集めた情報を根拠に基づいて整理し、自分の考えを分かりやすく表現・発信できる力を高めることで、思いやりの心とデジタル社会に対応する情報活用能力を共に育んでまいります。

○保護者のみなさんへ（全体を通じて）

本校の児童は学習に対する意欲が高く、国語・算数の平均正答率はともに全国平均をやや上回る良好な結果となりました。特に「情報の整理・分析」や「根拠を持って論理的に自分の考えを言葉で表現する力」に優れています。また、学習状況調査では「先生にいつでも相談できる」「自分の意見が否定されない」と答えた児童が多く、安心して学べる温かい環境やご家庭での学習習慣の定着が大きな成果として表れています。一方で、今回の調査から学習面・生活面における今後の課題も明確になりました。教科面では国語の文章構成力や算数の図形・空間概念の理解に課題が見られます。また、学習状況調査において「いじめはいかなる理由があってもいけない」という規範意識の回答が全国を下回った点は課題であり、相手の立場に立った思いやりの心のさらなる徹底が必要です。生活面では就寝時刻の不規則さが目立ち、夜間のスマートフォンやゲーム等の利用を含めた生活リズムの改善が求められています。さらに、端末を活用して自力で文章作成や情報整理を行うスキルの育成も重要です。学校では道徳教育やICT指導、対話的な学びを充実させ、確かな学力と思いやりの心を育んで参ります。ご家庭におかれましても、規則正しい生活習慣の定着やメディア利用のルールづくりに引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。